

第 39 回薬剤耐性菌研究会

会 期：平成 22 年 11 月 11 日（木）13 : 00 ～

平成 22 年 11 月 12 日（金）12 : 00

会 場：伊香保温泉 森秋旅館 会議室

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保 60

TEL: 0279-72-2601 FAX: 0279-72-5555

<http://www.moriaki-ikaho.co.jp/access/frame.html>

代表世話人：荒川 宜親（国立感染症研究所 細菌第二部）

事 務 局：山本 友子（千葉大学大学院薬学研究院
微生物薬品化学研究室）

池 康嘉（群馬大学大学院 細菌学）

研究会事務局 連絡先：群馬大学大学院 細菌学

TEL: 027-220-7992 FAX: 027-220-7996

e-mail: iwa-ryo@med.gunma-u.ac.jp

第 39 回薬剤耐性菌研究会

会場案内図（伊香保温泉 森秋旅館）



- ・ J R 渋川駅より伊香保温泉行バス 20 分 伊香保バスターミナル下車 徒歩 5 分
 (渋川駅からの伊香保温泉行きバスは電車の到着と連結していますので便利です)

バス時刻表	渋川駅発	伊香保バスターミナル着
	11 : 48	→ 12 : 04 (急行)
	11 : 54	→ 12 : 19
	12 : 20	→ 12 : 45
	12 : 32	→ 12 : 53

(詳しくは <http://www.kan-etsu.net/r-bus/timetable/shibu-ikaho-1.htm>)

- ・ 車で来られる際には、森秋旅館に直接お越し下さい。

ご 案 内

●研究会ご参加の皆様へ

1. 参加受付

受付は11月11日（木）12:00より森秋旅館ロビーにて行います。

2. 口演発表

- ・ 一般演題の口演時間は12分、討論3分です。
- ・ 発表はMicrosoft Power Point でお願ひします。
- ・ 特に枚数の制限はありませんが、必ず制限時間内に終了するよう作成してください。
- ・ プレゼンテーションで使用できる機材は液晶プロジェクターのみですので、発表者はお自分のコンピュータ（PC）をご持参下さい。液晶プロジェクターの入力端子はDsub-15ピンのみです。ご使用になられるコンピュータのモニター出力をご確認下さい。必要な場合は各自アダプターをご持参下さい。コンピュータを持参できない場合は事務局へご連絡下さい。

第 39 回薬剤耐性菌研究会プログラム (一般演題：発表 12 分、討論 3 分)

平成 22 年 11 月 11 日 (木)

(13:00~18:00)

13:00~15:00

分子疫学・サーベイランス

座長：切替 照雄 (国立国際医療研究センター)

日本で分離された VRE について

○野村隆浩¹、富田治芳¹、谷本弘一²、荒川宜親³、池康嘉^{1,2}

(¹群馬大学大学院細菌学、²群馬大学大学院薬剤耐性菌実験施設、³国立感染症研究所 細菌第二部)

日本国内の医療機関で分離された *Acinetobacter baumannii* の分子疫学的解析

○松井 真理、鈴木 里和、山根 一和、和知野純一、荒川 宜親

(国立感染症研究所 細菌第二部)

TEM-61 extended-spectrum β -lactamase 産生 *Serratia marcescens* の分子学的解析

○長野由紀子¹、長野則之^{1,2}、外山雅美^{1,2}、荒川宜親¹

(国立感染症研究所 細菌第二部¹、船橋市立医療センター 微生物検査室²)

座長：長野 則之 (船橋市立医療センター)

多剤耐性菌分離に関するアンケート結果

○切替 照雄¹、森 那美子¹、島田 佳世¹、荒川 宜親²

(¹(独)国立国際医療研究センター、感染症制御研究部、²国立感染症研究所、細菌第二部)

多剤耐性緑膿菌の分子疫学解析と迅速検出

○安藤(北尾) 公英¹、島田 佳世¹、霜島 正浩²、切替 照雄¹

(¹(独)国立国際医療研究センター、感染症制御研究部、²㈱ビー・エム・エル 細菌課)

2008 年臨床分離株を用いた薬剤感受性サーベイランス報告

○山城 秀仁、吉田 勇、山口 高広、堀 敏彦、巻 秀樹、山野 佳則

(塩野義製薬(株) 創薬・疾患研究所)

座長：中林 詳治 (塩野義製薬(株))

当センターにおける耐性菌サーベイランス報告 2006 年~2009 年の比較

○吉多仁子¹⁾、所知都子¹⁾、北橋由紀子¹⁾、藤田幸史郎¹⁾、森下裕¹⁾、松本智成²⁾

(¹) 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床検査科、²) 同 臨床研究部)

PCV7 に含まれない血清型肺炎球菌の薬剤耐性について

○和田昭仁、常彬

(国立感染症研究所 細菌第一部)

~~~~~コーヒーブレイク 15:00~15:15~~~~~

15:15~18:00

### **特別講演・シンポジウム** 「各国における薬剤耐性菌の現状」

座長:長沢 光章(東北大学病院)

#### 1. 日本における薬剤耐性菌の検出現状(1)ーグラム陰性菌ー

犬塚和久(愛知県厚生連)

#### 2. 日本における薬剤耐性菌の検出現状(2)ーグラム陽性菌ー

柳沢英二((株)ミロクメディカルラボラトリー)

#### 3. 日本における薬剤耐性菌の検出現状ー薬剤耐性菌検査の現状と問題点ー

佐藤智明(山形大学医学部)

座長:山本 友子(千葉大学大学院)

#### 4. 米国の薬剤耐性菌の現状

土井洋平(ピッツバーグ大学医学部)

座長:藤本 修平(東海大学医学部)

#### 5. Report of MOH National Antimicrobial Resistance Investigation Net (2009)

呂媛(北京大学第一医院・臨床薬理研究所)

座長:池 康嘉(群馬大学大学院)

#### 6. 新型の多剤耐性菌とそれらの特長について

荒川宜親(国立感染症研究所 細菌第二部)

2 日目

平成 22 年 11 月 12 日 (金)

(9:00~12:00)

9:00~11:00

**耐性機構**

座長：黒崎 博雅 (熊本大学大学院)

**緑膿菌のカルバペネム耐性化における外膜タンパク OprD の欠損と ampC 過剰発現の果たす役割**

○谷本弘一<sup>1)</sup>、堤 裕子<sup>2)</sup>、Nasrolah Sohrabi<sup>2)</sup>、柳沢英二<sup>3)</sup>、池 康嘉<sup>1) 2)</sup>

群馬大学大学院医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設<sup>1)</sup>、同細菌学<sup>2)</sup>、

株式会社ミロクメディカルラボラトリー<sup>3)</sup>

**大腸菌からの New Delhi metallo-β ラクタマーゼ遺伝子 bla<sub>NDM-1</sub> の検出とその伝達性**

○<sup>1)</sup>野中里佐・<sup>2)</sup>奥住捷子・<sup>3)</sup>五十嵐雅之・<sup>3)</sup>井上邦雄・<sup>4)</sup>山本芳尚・<sup>4)</sup>及川信次・<sup>5)</sup>千原晋吾・<sup>5)</sup>菱沼昭・<sup>1)</sup>増田道明・<sup>3)</sup>野本明男

(<sup>1)</sup>獨協医科大学医学部微生物学講座、<sup>2)</sup>獨協医科大学病院 獨協医科大学病院 医療安全管理部 感染防止対策課、<sup>3)</sup>(財)微生物化学研究会 微生物化学研究センター、<sup>4)</sup>獨協医科大学病院臨床検査部、<sup>5)</sup>獨協医科大学医学部臨床検査医学講座)

**肉用牛から分離されたセフェム系薬剤耐性大腸菌**

○江寄英剛<sup>1)</sup>、江藤麻希<sup>2)</sup>、石井良和<sup>2)</sup>、山崎裕子<sup>1)</sup>、中島隆二<sup>1)</sup>、遠田千穂<sup>1)</sup>、山本詩織<sup>3)</sup>、平井克哉<sup>3)</sup>、山口恵三<sup>2)</sup>

(<sup>1)</sup>(財)畜産生物科学安全研究所、<sup>2)</sup>東邦大学医学部、<sup>3)</sup>天使大学)

座長：山根 一和 (国立感染症研究所)

**B 群レンサ球菌の病原性クローン(ST-17)におけるペニシリン低感受性株出現の可能性**

○長野則之<sup>1,2)</sup>、長野由紀子<sup>2)</sup>、木村幸司<sup>2)</sup>、荒川宜親<sup>2)</sup>

(<sup>1)</sup>船橋市立医療センター 微生物検査室、<sup>2)</sup>国立感染症研究所 細菌第二部)

**アミノグリコシド耐性を付与する 16S rRNA methyltransferase NpmA の構造機能解析**

○和知野純一<sup>1)</sup>、山口佳宏<sup>2)</sup>、森茂太郎<sup>1)</sup>、黒崎博雅<sup>3)</sup>、柴山恵吾<sup>1)</sup>、荒川宜親<sup>1)</sup>

(<sup>1)</sup>国立感染症研究所 細菌第二部、<sup>2)</sup>熊本大学 環境安全センター、<sup>3)</sup>熊本大学大学院医学薬学研究部)

**新規タンパク質分泌系である Tat 系を標的とするスクリーニング系の構築**

○米山 裕<sup>1)</sup>、秋葉敬斉<sup>1)</sup>、堀 初弘<sup>1)</sup>、安藤太助<sup>1)</sup>、中江太治<sup>2)</sup>、磯貝恵美子<sup>1)</sup>

(<sup>1</sup>東北大学大学院農学研究科、<sup>2</sup>北里大学研究所抗感染症薬研究センター)

座長：和知野 純一 (国立感染症研究所)

#### 排出ポンプ阻害剤 Phe-Arg-β-naphtylamide (PAN)の外膜障害作用

○松本佳巳, 葉山浩平, 飯野亮太, 西野邦彦, 野地博行, 山口明人  
(大阪大学産業科学研究所)

#### IMP-1 メタローβ-ラクタマーゼとチオール化合物との相互作用

山口佳宏<sup>1</sup>, 荒川宜親<sup>2</sup>, ○黒崎博雅<sup>3</sup>

(熊本大学環境安全センター<sup>1</sup>, 国立感染症研究所細菌第二部<sup>2</sup>, 熊本大学大学院生命科学研究部<sup>3</sup>)

~~~~~コーヒーブレイク 11:00~11:15~~~~~

11:15~12:00

検査/感染制御

座長：奥住 捷子 (獨協医科大学附属病院)

黄色ブドウ球菌の分子疫学解析用キット(POT法キット)の性能評価

○鈴木匡弘, 山田和弘
(愛知県衛生研究所)

日常検査における薬剤耐性菌の検出方法の確立および薬剤感受性検査の精度管理に関する研究— 薬剤耐性菌検出法および精度管理に関するアンケート集計・解析 —

○堀 光広(岡崎市民病院)、長沢光章(東北大学病院)、犬塚和久(愛知県厚生連医療事業部)、郡 美夫(東京医学技術専門学校)、佐藤智明(山形大学医学部附属病院)、静野健一(千葉市立海浜病院)、荒川宜親(国立感染症研究所)

Web アプリケーション化 2次元キャリアマップ(2DCM-web)大規模公開試験

○藤本 修平¹、本間 操²、土手 健太郎³、荒川 宜親⁴

(¹東海大学医学部基礎医学系生体防御学、²都立駒込病院臨床検査科、³愛媛大学医学部附属病院集中治療部、⁴国立感染症研究所細菌第二部)

